

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クリーンねっと若狭		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 24日		～ 2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 2月 13日		～ 2026年 3月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能で就労継続支援B型事業を実施しており、移行期には児童分野以外の視点も活用することができる。	・就労するにあたって必要なスキルを獲得していけるように、作業訓練等を活動の中でも取り入れている。	・長期休暇中でないと時間が合わないため難しいが、実際の作業に参加して就労の場を体験する機会を持つ等、他ではできない取組みを考えていきたい。
2	自立支援協議会や事業所連絡会の場に、可能な限り全職員が参加していけるようにしており、他施設や地域の情報を得やすい。	・事業所連絡会には決まった人だけでなく、取組内容に合わせて適切な職員が参加できるようにしている。 ・他施設の職員等と交流の場を持つことで、幅広い視点を共有することができる。	・他施設と共通の児童に対する事例検討等を今後も積極的に展開していき、支援に生かしていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	基本的に同性介助を行っていきたいが、人員体制上できない現状がある。	・男性職員が少ない。 ・生活面の自立に課題があり、介助を要する児童が多い。 ・現在は少ないが、成長して中高生が増えることで、課題が顕在化してくると推測できる。	・職員の確保。 ・中学生以上で異性介助が発生することが予想される場合は、事前に保護者とも十分協議しておくようにしたい。
2	開所時間について、遅い時間までの預かりニーズが少なからずあるが、現在の職員体制では対応を実現することが困難。	・多機能型で就労継続支援B型を実施しているため、開所時間に制限がある。 ・地域的に人材の確保が難しい現状で、夕方の時間は子育て世代が働くことが困難なため、時間延長に対応しにくい。	・必要人材を確保し、将来的には多機能型で実施しているサービスをそれぞれ単独化して、規定上遅い時間まで営業できるようにする。
3	送迎体制が薄い状況が続いており、職員が欠勤すると送迎対応できないことがある。	・職員の年齢層が高いため、大きな車両を運転できない等、制限がある。	・送迎可能な人材の確保。